



# シラパコーン大学

## Silpakorn University



●学部学生 22,000人 ●大学院生 4,000人 ●教員 1,000人

ホームページ <http://www.su.ac.th/>

交流協定締結年月日：2016年6月15日 主管学部：農学部

### 国際交流の特色

シラパコーン大学は1943年10月に絵画・彫刻学部の単科大学として開学した。その後、1955年にタイ様式建築学部、考古学部及び装飾美術学部が、さらに、新たに設けられたサナムチャンキャンパスに、1968年及び1969年に、学芸学部及び教育学部がそれぞれ開設された。続いて、1972年に理学部、1985年に薬学部、1991年に工学・産業技術学部、1999年に音楽部が開設された。さらに、拡張のため、Phetchaburi 県に新たなキャンパスとして「Phetchaburi Information Technology Campus」を設け、2001年に畜産・農業工学部を、2002年に経営科学部を、2003年には情報・通信技術学部と、異なった分野の学生の国際的な教育のためのシラパコーン大学国際カレッジ (SUIC) を開設した。また、1972年に、全学の大学院教育を便利にまた責任ある体制にするため、全学規模の大学院を設立した。この様にシラパコーン大学は現在13の学部とインターナショナルカレッジ及び全学に渡る大学院を有する総合大学である。

工学・産業技術学部は、材料科学及び材料工学科、食品工学科、生物工学科、工業技術及び工業経営学科、機械工学科、化学工学科及び電気工学科の6学科から成り、工業分野だけでなく、農業、食品、飲料、医薬品などの分野でも知の拠点として活発に活動している。

### 交流実績 (平成27年度～28年度)

年度	H27	H28
受入・派遣		
学生の受入	1	1
学生の派遣	0	0
研究者・職員の受入	1	0
研究者・職員の派遣	0	1



SSプログラム閉講式

### 学生からの声

2017年8月21日から9月22日の間、私は、香川大学の食の安全・機能解析教育の体験型ショートステイプログラム2017に、26名の異なる国（中国、イギリス、インドネシア、台湾、ブルネイ、トルコ、ベトナム、アメリカそしてタイ）の人達と参加しました。この旅は、私にとって、初めて日本を訪れるものであり、大変エキサイティングな旅でした。

私たちは、香川大学農学部から10km離れた宿舎に滞在しました。そのため、毎日、自転車で通いました。香川大学での印象的な活動は、日本文化では色鮮やかな浴衣を着せてもらってことや、茶道について教えていただいたことなどです。

また、大塚製薬や菓子メーカーのハレルヤの工場を見学しました。そこで私たちは、多くの装置や設備を見学し、製品の製造やマーケティングに関する多くのことを学ぶことができました。また、香川大学では、香川大学で大変有名な研究である希少糖の生産センターを訪ね、そこで、希少糖の生産工程を見学し、希少糖のテイスティングを行いました。これらは大変有意義な経験でした。

研究室体験では、キチンナノファイバーによるO/Wエマルションの作成、パウンドケーキに対するモノ及びジグリセライドの影響、パンケーキ生地のレオロジー的性質に対する多糖類の影響、パンケーキのテクスチャ解析など、様々な内容を経験しました。これらのことはほとんど自ら行いましたので、大変勉強になりました。また、研究室の皆さんはいろいろと親切に教えてくれました。研究室で学んだこれらのことは、タイにおける現在の私の研究に応用できると考えています。

1ヶ月のプログラムの間に、SSプログラムの友人達などと英語でのコミュニケーション機会に恵まれて、私の語学力の上達の助けとなりました。また、日本の食事は大変美味しく、特に、さぬきうどんと天ぷらは大変気に入りました。もし機会があれば、もう一度訪問したいと思いました。